

方城町の人口

(4月1日現在)

人口	7,872人
男	3,794人
女	4,078人
世帯数	2,092戸



発行所

福岡県田川郡方城町

印刷所

佐々木印刷所

昭和四十五年度

町長施政方針



町長 中島義章

昭和四十五年度の施政方針、私の構想でございますが、本年事業をどうやって行かという事で色々苦慮もし、又努力もしてきたわけでございます。

ご承知のように方城町は三菱方城炭鉱が閉山した以後は、とにかく転落の一路をたどり、全国でも屈指の財政貧弱町に転落してこの状態を続けてきたわけでございます。

財政状態から考えますと町発展事業はできないという簡単な結論になります。今更私が申し上げるまでもございませぬが、生活保護者が町全体の三〇パーセント以上となっております。町自体の財政規模からいいますと町税二千七百万、三千万にならない状態でございませぬ。

これに對しまして、国県から一億円以上の交付税を貰っている。いわば町自体

が生活保護町といった状態でありませぬ。

この方城町を生れ変えらねなければならぬということ、私色々識者のご意見も伺いながら本年度予算編成に努力いたして参ったわけでございます。

●産業道路の早期完成

陸の孤島といわれました方城町内の道路の改修も大事でございますが、先ず第一に町のカンフル注射の役目を果たす、直方と田川間のバイパス、これに全力を挙げて早期完成を願うものでございます。

この事業は、県道であり県管事業でありまして、町としても早期完成に全力を傾注しており、用地買収並びに工事の面につきましても町民各位の全面的協力を願うものでございます。

このバイパスを中心にして、既有的町本来の道路を今後の方城町開発にあうような道路になんとかしていかねばならぬ、そういう考え方での現在の町道を整備、他市町村の状況、或は、都会の状況

をつぶさにみて方城町においても車が離合できる位の道路にしなければと私痛感してきたわけでございませぬ。開発就労事業による道路の拡充整備、緊就事業、一般失対事業、道路整備事業及び同和地区の改善事業といったあらゆる補助事業を利用して町道の整備を完遂するときこそ町民の福祉につながるものと信じ早急に完成させたいと思っております。

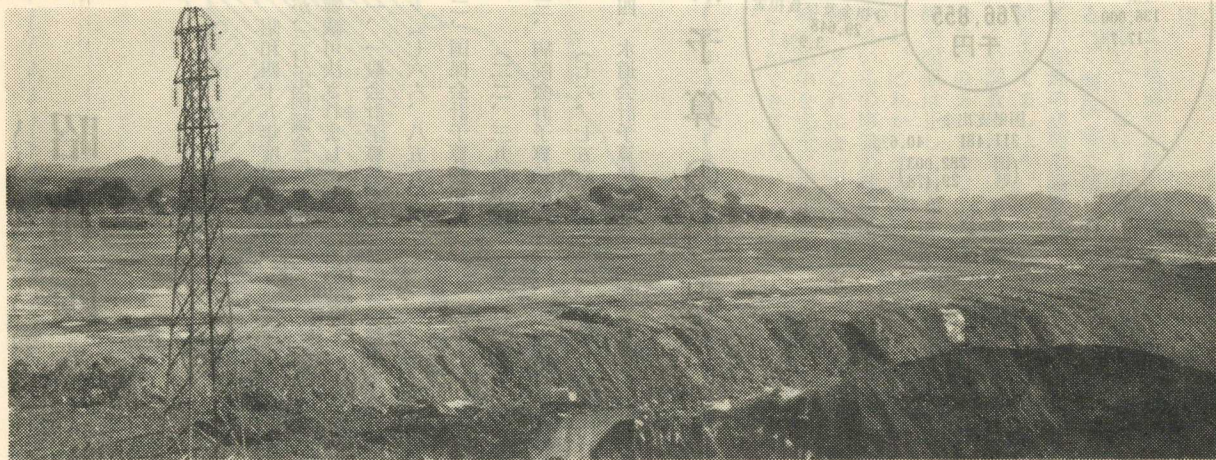
●日立マクセル

六月から操業開始

石炭を忘れて新しく生まれ変わる手段として工場誘致、昨年からの町民各位に迷惑をかけております。日立マクセルがいよいよ進出本決定になりました。本年六月から操業を開始することになっております。

新聞紙上でも従業員募集が出ておりましたが、日立マクセルとしては、かなりの身の入れかたのようでございます。

日立マクセル担当重役と、話し合いを進めてきた結果、ただ単に方城町には下請の工場を誘致するのではなく、大阪にある本社工場を方城町に移したいという計画のようでございます。勿論方城町で成功するかないかは受入町である方



工場団地

城町あるいは、筑豊地区全体の受入体制と申しますか先ず第一に考えられますことは、従業員の確保でございます。日立マクセルとしましては、方城町の住民を優先的に採用するという線は変えておりませぬが、あえて方城一町を相手にしてなかなか人は集まるまいということ、筑豊地区並びに九州を募集範囲にして色々従業員募集に奔走しておる状態でございます。

日立マクセルは、昭和五十年に方城町で月産五億円の製品を造り出す計画を進めております。営業の主な方法は、米国向けの輸出でございます。京都郡刈田町が国際貿易港として完成した際には、刈田港から輸出を主体として考えていきたいという構想のようでございます。

これが成功するか或は、不成功に終るかの鍵は町民みなさん方のご協力の有無にかかっております。何卒強力なるご支援の程をお願い申し上げます。

●農業振興と林道開発

三菱鉱業が進出する前は純農村であり三菱と共に栄え、三菱と共に衰退した農業の現況を見ますときに何とか将来に希望のものは農業を振興させなくてはならないと云う使命感をしみじみと感じさせられます。